

2019 人間生活工学ワークショップ「自然に楽しく行動を誘導する」

開催日 2019年11月11日(月) 13:30~17:00 (13:00より受付開始)

場所 早稲田大学 西早稲田キャンパス 62号館1階会議室

主催 早稲田大学創造理工学部人間生活工学研究室・(一社)人間生活工学研究センター(HQL)

【開催の狙い】

モノの使い方、サービスの利用の仕方、街中や公共空間での人の誘導、さらには、消費者への消費行動への誘導など、生活者の誘導のための情報というものがあります。それを自然に伝える・・・そのような伝え方を、人間の心理や行動特性と技術とをクロスさせて考えていきたい。今回の人間生活工学ワークショップでは「自然に楽しく行動を誘導する」というテーマのもと、識者や第一線でご活躍の皆様からご講演をいただき、参加者とともに考えていきたいと思っております。今回のワークショップを通じて、多くの気づきが得られることと期待しております。

(ファシリテート：早稲田大学創造理工学部 経営システム工学科 小松原明哲教授)

■「デザイン心理学による付加価値の創造」

— Nudge(さり気なく仕向ける)と

Evidence-based Design (科学的根拠に基づいたデザイン)の視点から—

日比野治雄先生

千葉大学大学院工学研究院

融合理工学府創成工学専攻デザインコース デザイン心理学研究室教授

(株)BB STONE デザイン心理学研究所 技術顧問

現在、多くの領域でコモディティ化の問題が起きている。それをデザインの力によって打開することは有力な方策だが、そこにデザイン心理学的視点を加えれば、さらに大きな付加価値を創造することができる。本講演では、その点について、これまでに私の扱った具体例を挙げながら、わかりやすくお話しをしたい。

■「インクルーシブな社会の実現に向けた音声ナビゲーションシステム」

貞清一浩氏

清水建設(株)技術研究所 未来創造技術センター

視覚障がい者や不案内な人でも、目的地までの自律移動を支援する音声ナビゲーションシステムを開発した。ここでは、そのシステムの概要と社会実証実験の結果について報告する。

■「生活者の行動をアクティベートするこれからのコミュニケーションとは」

中川浩史氏

博報堂行動デザイン研究所所長

シニアインタラクティブディレクター

大量の情報が流通し、マス広告だけでは消費行動を喚起しにくい時代。自ら自分に合った情報を引き寄せる「じぶん情報圏」を持ち始めた生活者に対して、企業が取るべきコミュニケーションのあり方を考える。

■参加者とのパネルディスカッション

参加者の皆様＋日比野先生＋貞清先生＋中川先生＋小松原先生

【ご案内】

- どなたでも参加できますが、事前にお申し込み下さい。
会場の都合により先着40名まで受け付けます。
- 申し込み先：人間生活工学研究センター東京事務所
kouza@hq1.jp (FAX：03-5405-2143)
氏名と所属・連絡先 ※HQL会員（企業、個人）の方にはその旨を明記して下さい。
- 参加費：2000円（HQL会員は1000円）。当日受付にて支払い。
- 東京メトロ副都心線「西早稲田」駅下車が極めて便利です（キャンパスは駅に直結）。
駅（早大理工方面出口）を出て頂きキャンパスの反対側（西端）の校舎が会場となります（会場は62号館1階）。

